

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	GG.SUPPLY 株式会社
代表者名	國村 隼太
所在地	810-0042 福岡市中央区赤坂 1 丁目 5 番 11 号
電話番号	092-707-3920
ホームページ	https://gg-supply.com/

Well-being 向上 に向けた取り組み	①環境問題・社会問題への取り組み 完全制御管理された完全密閉農場内で栽培。そのため環境問題（異常気象、気候変動から日照不足、気温上昇、豪雨被害、大気汚染、土壌汚染）に一切影響を受けず、年間を通しての安定供給を実現。 ②脱炭素に向けた取り組み 自社で育てた野菜をデリバリーアプリで配達することで「近所産・近所消」を実行。物流にかかるエネルギー（ガソリンや軽油）さらに燃焼することで排出する Co2 などの削減、温暖化対策への貢献、大気汚染対策への貢献。 ③フードロスへの対策 お野菜はご注文を頂いてから収穫。つま活きたままストックしているので、廃棄はゼロ。また、自宅に持ち帰った後も 1 ヶ月は日持ちするので自宅でのフードロスもゼロに。 ④障がい者雇用への取り組み 野菜生育システムが確立していることで、障がい者にも働きやすい環境に。採用だけでなく、職業体験や訓練の受け入れも実施。		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。	○	○		・年齢や身体 の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進している。 ・精神や身体に障害を持っている障がい者、中高年者、害国人を積極的に採用している。 ・障がい者に対して、精神や身体 の状況に応じた仕事内容(得意な分野一点に集中など)やポジションの配置など、円滑に作業やコミュニケーションを図るための取組みを実施している。						○				○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し、柔軟な勤務形態をとっている。 ・本人や家族(通院、介護、家庭の事情、子育てなど)ライフスタイルに合わせて仕事の両立を支援する制度を導入している。						○				○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・ハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・人権問題やハラスメントの防止について月に1度研修を実施している。						○				○		○					○
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・長時間労働を是正するための具体的な取組みを行っている。 ・月に一度メンタルヘルスに関する面談を実施している。 ・身体 の健康と仕事の両立支援を行っている。						○				○							
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・社内だけでなく、社外での研修を実施している。 ・専門学校と協力し、インターンシップや職業体験を実施している。						○	○			○	○						
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・店舗で販売する商品の素材は再生可能な資源を積極的に使用している。 ・従業員のマイバッグやマイボトルの利用を推進している。						○				○			○	○		○	
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	・クール/ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。 ・社員に公共交通機関による移動を呼び掛けている。										○			○	○			
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	・天候や環境問題に左右されない野菜の製造方法を行っている。 ・従来の野菜部流では大量に消費されていたCO2を格段に減らした商品・サービスの取り扱いや、地産地消を超えた近所産近所消費推進している。										○				○	○	○	○
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員への節水の呼びかけや節水型機器を設置するなどして、節水に努めている。 ・店舗で使用した水は排水等に再利用を行っている。										○							
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、商品には必ず顧客アンケートと商品に関する問い合わせについての用紙を同梱している。						○							○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・自社の事業がどのような社会課題の解決に繋がるかを意識して事業を推進している。 ・環境問題(脱炭素・農薬・干害・豪雨・大気汚染)に左右されず、持続可能な社会を実現するサービスを運営している。 ・子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが使いやすいよう配慮した製品・サービスを提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業実行・組織本則	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。																	○
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・法令遵守の重要性を従業員に常に発信している。 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組み・ルールを整備している。																	○
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○			・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、月に一度社内会議を実施し、経営理念・経営目標を社員と共有している。											○	○					○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。												○		○		○	